

# 京都教区時報

カトリック京都教区ザビエルネット/アクセスNo.075-467-1576 ゲストID:GUEST 通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N  
e-mail catholic@mbox.kyoto-inet.or.jp Home Page http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/

## 号外

田中司教認可  
発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
カトリック会館  
編集用 TEL・FAX  
0775-27-6800  
(滝野)

## 特集 二十一世紀の福音宣教に向かって

【京都南地区小教区】											
河原町教会ヨゼフ会	富雄教会	奈良教会	京都教区支部	御所教会	大和高田教会	西大和カトリックセンター	大和八木教会	御所教会	富雄教会	奈良教会	京都教区支部
河原町教会マリア会	2	2	2	3	3	3	11	10	10	9	9
河原町教会ナイス会	2	2	2	3	3	3	10	10	10	9	9
桂笠教會	3	3	3	3	3	3	10	10	10	9	9
西九条教會	2	2	2	2	2	2	10	10	10	9	9
西西教會	1	1	1	1	1	1	9	9	9	9	9
桂林教會	1	1	1	1	1	1	8	8	8	8	8
河原町教会ヨゼフ会	1	1	1	1	1	1	8	8	8	8	8
【京都北地区小教区】											
精田龟宇八桃伏院西桂	4	4	4	4	4	4	11	11	11	11	11
辺岡治幡山見院笠教	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
華岡治幡山見院笠教	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會会会会会会会	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會会会会会会会	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會会会会会会会	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會会会会会会会	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會会会会会会会	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會会会会会会会	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會会会会会会會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會会会会會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12	12	12
教會會	5	5	5	5	5	5	13	13	13	13	13
教會會	5	5	5	5	5	5	12	12	12		

・神様の救いのみ業に、人々はどうのよう応じたのだろう。

◆二〇〇〇年のテーマ

大聖年で何だろう

▼大聖年の祝典行事に参加しよう。

・九六年から勉強したことや考えたことをまとめて、実行できることがから始めよう。

河原町教会マリア会（京都南地区）

◆一九九六年のテーマ

人間の運命に対する共感がない

▼神だけが知り得る終末を、自分のもの個人的なものとして引き寄せてしまう宗教が横行して、宗教

を人間が歪めているが、不安をもたず、神の自由な意志を信頼して喜び、希望の昇華を願い、日々の教会活動を人々との和解のうちに見いだす。現代における殉教とは、現実の生活のなかにある葛藤を直面したとき、どう受け止めるか、どう行動するか、そんなとき、教会なり、そこに集う人々が受皿になれるよう努力したい。

◆一九九七年のテーマ

若い人々・子供達が気楽に入りできる教会

▼宗教心のない家庭が多い中、次代を担う子供達の為に親が無理強いせずに、自然体で子供を教会・

ミサに預からせる努力を習慣づけて行きたい。（子供のミサの重要性）

◆一九九八年のテーマ

人々との間ににおいて、もっと進んでさり気ない挨拶、笑顔を交わし

あおう

▼教会が閉鎖的にならず、社会に融合していく為にも、もっと気楽にたおやかな笑顔、挨拶を交わし

あい、多くの人々を招き入れる大

活祭をもつとオープンにしては？）

（教会内における気さくな人々の輪作り）

◆一九九九年のテーマ

じじと私を見つめている目・見守っている目がある

▼ありのままの自分をあるがままの姿で素直な気持ちで神様に委ねる幸福をかみしめる。（無理の無い個々に応じた教会奉仕活動）

◆二〇〇〇年のテーマ

静かに目覚めて待つ

▼福音（御言葉）を日々の生活のなかで反芻（はんすう）しながら、

待つことによって清められる愛・

信仰の喜びを確信するとともに、

周囲に対してお互いを素直に受け入れる心を培う。

河原町教会ナイス会（京都南地区）

◆一九九六年のテーマ

現代カトリック教会における影

俗的価値観（不信仰、不倫理、非

生命的な事）に対して、柔軟に、

又、へり下りを持って、その社会

の影を共に傷み、分かち合いながら信仰の光を影の中に見出し、活

動して行く青年の集いをめざす。

◆一九九七年的テーマ

キリスト者の信仰のあかし

▼『教会憲章』を勉強すると共に、

教会にとって聖母の果たしておら

れる役割の秘義を観察していく。

（神父様と共に）

聖霊の現存と働き

▼現代社会を聖化される聖霊の導

きとしての希望のしを再評価

し、また、理解して行く。

◆一九九九年的テーマ

信者の視野の拡大

▼貧しい人、社会から見捨てられ

た人とかかわって行く。

◆二〇〇〇年のテーマ

内的わざによる福音宣教

▼青年、キリスト者がキリスト者として、責任を持ち、内的成長を

とげながら（聖成の恩恵に預る）

キリストの現存を深く観想し、共に祈り、エキュメニカルな指向で、内的、外的に、聖霊の導きの下、福音宣教をして行く。そして大聖年をそれらの人々と共に祝う。

桂教会（京都南地区）

◆教会の統廃合・共同宣教司牧

◆共同司牧の小教区と交流を深め

る

◆祈りと実践

【問題意識の欠如・信仰生活・話

合う・交流・若い世代】

▼シスターの協力を求める。

【教会の統廃合・共同宣教司牧】

◆教会の統廃合・共同宣教司牧

【問題意識の欠如・信仰生活・話

合う・交流・若い世代】

▼小グループ単位で話合いの場を

持つ様にする。

・教会に来ていろいろの人と出会い、話し合う。

・他人の揚げ足を取るのではなく、

寛大な心を持ち、お互い明るい教会を作っていく。

・出来ることから実行する。

◆一人人が教会の支え

▼若い世代において、多くの人と交流を図ることが大切で、教会を

そのような場にする。

・親子の触れ合いのなか、伝える

べきことは信念を持つて、親として模範を示し、信仰を継承すること

**【福音宣教】**

◆殉教者の苦難そして祈りを忘れない

**【教会の門戸】**

◆手を携えて一緒に歩もう

**【中堅の世代・信仰の継承】**

◆一人の百歩より百人みんなで一歩を歩もう

**【働き盛りの四十・五十代の人が中に入って来れるように配慮する。】**

◆洗礼を受けた人で教会に来ていない人への掛け合。

**【信徒会財源】**

◆役を受けるのは、自分や家族が健康であるという感謝の心を持つ。

**【信仰の礎を一人一人の手で次の世代に】**

◆小教区は経済的に自立したい。

一人一人がどうすべきか考え、行動する。

**衣笠教会(京都南地区)**

**◆一九九六年のテーマ**

殉教者のあかしの中から大聖年への理解を深める

◆現代の在り方についての悔い改め。

◆一九九七年のテーマ

イエス・キリストのすべてを知ること

**【心を新たにして聖書に帰る。】**

◆一九九八年のテーマ

さまざまな形でいただく聖霊の働きの再認識

**【聖霊の導きに従いながらすすめ福音宣教。】**

◆一九九九年のテーマ

父である神がもたらす愛と平和と正義

**【現代社会における「たすけあい」のために、私達はなにをなすべきか。】**

◆二〇〇〇年のテーマ

三位一体の栄光への賛美

**【広い視野と、幅広い考え方を持ち、人の傷みの判るキリスト者とは。】**

ついて追求する。

・日本二十六聖人殉教と地域のつながりを調査研究することにより、殉教の認識を新たにする。

**【一九九七年のテーマ】**

子どもたちの要理教育の変遷

**【一九九八年のテーマ】**

家庭環境等、生活を通しての要理教育のありかた(特に幼児洗礼)に注意!!

**【一九九九年のテーマ】**

堅信式による聖霊の働きと要理教育

**【二〇〇〇年のテーマ】**

聖霊の愛を伝える(告げ知らせる)

**【二〇〇一年のテーマ】**

神の愛を信じる事により、地域各諸宗教の対話・講話・セミ等積極参加! 対岸からの要理教育を見直す。

**【二〇〇二年のテーマ】**

・若返りの体制づくりについて、信徒の熱意と努力により「考え方」から老齢化を防止する。

**【二〇〇三年のテーマ】**

・共同宣教司牧教会として、共同宣教の・在り方・協力・要理教育の探究により信仰をあかしする。

**【二〇〇四年のテーマ】**

・地域のひととの結びつきを大事に、各種の催しを企画・実行することにより神の愛を分かち合う。

**【二〇〇五年のテーマ】**

・各会議・聖書の分かち合い・子どものミサと要理教育の関連性に

九条教会の歴史を基盤に、これから信仰のあかしを要理教育にもとづき整備する

・作成し、特に信徒数・移動等歴史をチェックする事により要理教育を見直す。

**【九条教会創設五十年史をおおよそ】**

・五カ年経過による反省・比較・検討等によりよき要理教育を探求する。

**【一九九七年のテーマ】**

・土曜学校等の復活に努力。前向きに子どもたちへの要理教育をかくらつする。

**【一九九八年のテーマ】**

・共同宣教司牧教会として歩調を合わせ、ムダ・ムラ・ムリのない要理教育をおおよそ作成する。

**【一九九九年のテーマ】**

・地域社会に開かれた信仰共同体を築きあう! 共同宣教司牧の推進を支える小教区(桂・九条・西院)の共同体づくり!

**【二〇〇〇年のテーマ】**

・司祭・修道者(聖母訪問会)・信徒が一体となって、信仰共同体と共に築いていくため、今後も毎月一回以下のような内容について自由な対話をとおして、現状の理解を深め、自分自身が本当に望んでいるものは何かを、キリストの目を通して把握し、将来を考え、

**西院教会(京都南地区)**



識向上を図る。

八幡教会（京都南地区）

- ◆ 日本二十六聖人殉教四百年祭の行事への協力と参加。
  - ◆ 一九九七年のテーマ  
キリストの教え（みことば）に聞こう
  - ◆ 聖書の学びを広める。
  - ◆ 一九九八年のテーマ  
聖靈に聞こう
  - ◆ 共同体として、聖靈のうちに一致できるよう祈る。
  - ◆ 『教会憲章』を学ぶ。
  - ◆ 一九九九年のテーマ  
神の愛を生きよう
  - ◆ 貧しい人、苦しむ人と共に歩む。
    - ・実際にできることから始めよう。
  - ◆ 二〇〇〇年のテーマ  
神をたたえよう
  - ◆ 典礼を正しくとらえ大切にする。
    - ・喜びをもつてミサに参加しよう。
  - ◆ 大聖年の意味を理解する（ミサの説教の中に組み入れる）。
  - ◆ 一九九七年のテーマ  
第三の千年期
  - ◆ 宇治教会（京都南地区）

宇治教会（京都南地区）

亀岡教会（京都南地区）

- ◆ 小教区としていかに二〇〇〇年を祝うか（ローマ巡礼に加わりたい）。

◆ 龟岡教会（京都南地区）

  - ◆ 一九九六年のテーマ  
先人を思い起こし、私達の信仰生活を反省しよう
  - ◆ 日本二十六聖人にちなんだ巡礼・講演会の実施。
  - ◆ 一九九七年のテーマ  
聖書に基づいて、イエス・キリストという人間をもつと知ろう
  - ◆ 一九九八年のテーマ  
聖靈の導きによって、御父を賛美しよう
  - ◆ 一九九九年のテーマ

聖靈

田辺教会（京都南地区）

- ◆二〇〇〇年のテーマ  
　　信仰の恵みに感謝しながら証人  
　　あかしひと）になろう

田辺教会（京都南地区）

  - ◆一九九六年のテーマ  
　　共同体作り
  - ◆一九九七年のテーマ  
　　キリストの教えを学ぶ
  - ◆一九九八年のテーマ  
　　聖霊への理解を深める
  - ◆一九九九年のテーマ  
　　地域社会の福祉に積極的につか  
　　わっていく。今までの課題の見直  
　　し。（神と隣人への愛の実践とし  
　　てボランティア活動などに努力す  
　　る。また、一九九六年からこの時

精華教会（京都南地区）

- ◆二〇〇〇年のテーマ  
までの振り返りをする)  
大聖年を祝う

▼祝典への協力参加。(大阪教会  
管区または京都教区で祝賀行事が  
計画されます。それに積極的に参  
加しましょう)

◆精華教会(京都南地区)

◆一九九六年のテーマ  
殉教者の証しの中に歩む教会  
▼交わりを大切にしよう。眞の交  
わりとは何だろうか。個々の家庭  
を見直そう。家庭の喜び苦しみは?  
◆一九九七年のテーマ  
主の福音と共に歩む教会  
▼分かち合いをもとう。このとき  
主はどう言われるだろうか。お互  
いに理解し合う家庭にしよう。

◆一九九八年のテーマ  
聖霊の導きの中に生きる教会  
▼主の手となって地域の方々の中  
へ。青少年に魅力ある家庭・教会  
を築こう。

◆一九九九年のテーマ  
主と共に働く人々の教会  
▼家庭を通して小さな人々へのか  
かわりをもとう。私にできること  
は何だろうか。  
み国に生きる喜びの教会

▼神の家庭としての喜びと安らぎをもとう。誰もが来たい教会に。

### 綾部教会（京都北地区）

める。

#### ▼二〇〇〇年の取組み

##### ・上記を実施。

・大聖年の祝典に、また各地の式典等に積極的に参加して神の栄光に帰する。

- ◆五年間のテーマ
- ◆他宗教と平和を祈ろう

#### ▼一九九六年の取組み

- ・大本教、メシア教、仏教、神道、天理教、金光教、黒住教、立正佼成会と共に世界平和祈願。

#### ▼一九九七年的取組み

- ・他宗教と手を結び、カトリック教会を会場にして平和のミサを捧げる。

#### ▼一九九七年的取組み

- ・世界宗教者平和会議がアシジで行われ、日本では比叡山で平和祈願が行われていますが、綾部ではカトリック教会にて行う。

#### ▼一九九八年の取組み

- ・上記他宗教との共同平和祈願は行っていますが、本年は講演会を行って、広く綾部市民にアピールする。

#### ▼一九九九年の取組み

- ・聖靈を中心とした準備の年として公会議の学習。

#### ▼一九九九年の取組み

- ・父である神を中心とした準備の年。

#### ▼一九九九年の取組み

- ・貧しい人、社会から見捨てられた人（未解放）とのかかわりを深め、教会に来ない信者への呼びかけ

### 西舞鶴教会（京都北地区）

▼なぜ教会に来る事ができないのか原因究明し、対策を考える。

#### ◆一九九七年のテーマ

家庭での祈り—イエスとの出会い

てきている。又、どの様な祈りをすれば良いのか知らない家庭が多い。祈りの仕方について考える。

#### ◆一九九八年的テーマ

教会での祈り

▼私達は毎週（毎日）教会に来てお祈りをしているが、共に心を合わせて祈る喜びを感じているか、再度見つめなおす。

#### ◆一九九九年的テーマ

一般市民への福音宣教活動

▼神のみ言葉を多くの人達に知つてもらうために、色々な機会を利用して宣教活動を行う。（例として、教会で結婚式をされた人達、バザー等での教会の案内）

▼聖靈を中心としてカテケジス。キリストのように真に人を愛する者になれるよう

#### ◆一九九九年祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

ゆるし、ゆるす心を下さい

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

ゆるし、ゆるす心を下さい

#### ◆二〇〇〇年のテーマ

活気溢れる教会へ

▼祈りについては、具体的な方法で取り組んでいきます。

#### ・学び（カテケジス）についても、

年間を通して、いつ・どのような形で展開していくかについて、今後検討し、信徒の皆さんに伝えていきます。

◆一九九六・九七年祈りのテーマ

神の恵みに気づく

#### ◆一九九八年祈りのテーマ

御子を中心としたカテケジス。

#### ◆一九九九年祈りのテーマ

キリストのように真に人を愛する者になれるよう

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

ゆるし、ゆるす心を下さい

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

ゆるし、ゆるす心を下さい

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

### 宮津教会（京都北地区）

▼祈りについては、具体的な方法で取り組んでいきます。

#### ・学び（カテケジス）についても、

年間を通して、いつ・どのような形で展開していくかについて、今後検討し、信徒の皆さんに伝えていきます。

◆一九九六・九七年祈りのテーマ

神の恵みに気づく

#### ◆一九九八年祈りのテーマ

御子を中心としたカテケジス。

#### ◆一九九九年祈りのテーマ

キリストのように真に人を愛する者になれるよう

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

ゆるし、ゆるす心を下さい

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

ゆるし、ゆるす心を下さい

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

キリストのよう

て、教会で結婚式をされた人達、

#### ◆二〇〇〇年の祈りのテーマ

### 岩滝教会（京都北地区）

キリストにならう

▼今日一日出会う人々すべてに主の平和を願う(心の中で)。

◆聖書を学ぶ。

◆一九九八年のテーマ

神に生かされて信徒の交わりを、一層密にする。

◆信徒の働きを、一層密にする。

◆聖靈の働きを学ぶ。

◆一九九九年のテーマ

ゆるし

▼ゆるしの秘跡を学び直す。

◆二〇〇〇年のテーマ

皆が一つになるように

▼聖体祭儀についての理解を深める。

・巡礼旅行企画。

### 加悦教会(京都北地区)

◆一九九六年のテーマ  
殉教者をしのぶ

▼日本二十六聖人殉教四百年祭へ巡礼。

・日本二十六聖人のVTR、スライドを各地区で見る。

・合わせて津和野の殉教者も同じ。

◆一九九七年のテーマ  
救い主キリストに向かう

▼默想会、研修会を実施。

◆一九九八年のテーマ  
聖靈の光を求める

▼祈りの深まり、祈りの集い、教會内の一致、教会間の一致。

聖靈の中心—神の愛—人間の答え

◆一九九九年のテーマ  
すべての源である父へ

▼ミサ典礼の充実と各信徒の理解を深め、能動的に参加すること。

◆二〇〇〇年のテーマ

三位一体の神の中で憩うミナー)。

▼大きいなる黙想(一週間の連続セ

### 網野教会(京都北地区)

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省。殉教者のあかし

▼聖体祭儀についての理解を深め共回心式(日曜日のミサの始

めに)。

・津和野への巡礼(九月十五日)  
十六日)。

・みんなで日本二十六聖人殉教四百年祭へ行こう。

◆一九九七年のテーマ  
キリストを中心。秘跡のなかで。

典礼のなかで

・毎月の第一水曜日を聖時間に。

・聖書研究(毎週水曜日。第一を除く)。

・黙想会。殉教者の地を訪ねて巡礼。

・聖母マリアの役割を知る:ルルドの整備。

◆一九九八年のテーマ  
ドの整備。

・日本や世界で行なわれた様々な活動の歴史を学ぶ。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして:われらの家族の信仰生活

▼家庭は人間社会の未来の希望!  
・家庭集会、家庭ミサ等を行なう。

◆二〇〇〇年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。  
・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。(未信者が教会に気楽に出入りできる雰囲気を作る)

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

・地元、丹後地方のキリスト教の歴史を探る。(京極マリヤ、内藤如安、若狭京極家を訪ねる)

・日本二十六聖人殉教四百年祭に

・教会の歴史を探求する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂をたずねる。

・キリストを中心に生きる(秘跡と典礼を通して)

▼毎月第一金曜日、聖時間として

◆一九九八年のテーマ  
聖靈を中心活ける(神の愛、人間の答え)

▼人にたいする愛の働き。

・日本や世界で行なわれた様々な活動を通じて教会の門戸を開放する。

◆一九九九年のテーマ  
父である神を中心にして生きる(教会共同体として生きる)

▼家庭は人間社会の未来の希望!

・冠、婚、葬、祭、ボランティア活動を通して教会の門戸を開放する。

◆一九九六年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人たち

▼教会の歴史を研究する。

・大巡礼ローマ、いろいろな教

区の大聖堂を訪ねる。

・熱年者の集いの充実。

◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと反省(殉教者の証しの探求)

▼ミサ中の回心の祈りの充実。

**峰山教会（京都北地区）**

- ◆一九九六年のテーマ  
悔い改めと和解（回心）
- ▼信者の一致・神との一致を求めて共同回心式。
- ・日本二十六聖人殉教四百年祭への大集合と祈り。
- ◆一九九七年のテーマ  
日本の殉教者に学ぶ
- ▼彼等を殉教へと導いた信仰。
- ・現在我々の信仰生活についての反省となすべき行動。
- ・キリストとの出会いを求めて。
- ・長崎巡礼や殉教四百年行事への参加。
- ◆一九九八年のテーマ  
大聖年の意味するものを探る
- ▼聖靈の光りに導かれて大聖年の準備をする。
- ・個人として、教会共同体として生きるべき信仰生活。
- ・現在の教会が直面している困難点を克服し喜びの信仰生活を求めて。
- ◆一九九九年のテーマ  
日本宣教四百五十年に当たり
- ▼総社会と横（個）社会に於ける宣教の在り方と問題点。
- ・小地域（家庭）でのミサと集会。
- ・信仰高揚と低下の歴史的背景を

探る。  
・鹿児島・山口等ザビエルの跡を訪ねる。

- ◆二〇〇〇年のテーマ  
大聖年（キリスト誕生二〇〇〇年）をふさわしく迎える
- ▼聖書を生きる生活。

**大津教会（滋賀地区）**

- ・教会の一致を目指して。
- ・大聖年行事への積極的参加により神を賛美。
- ◆一九九六年のテーマ  
殉教の歴史を知る
- ▼日本二十六聖人などの殉教の歴史を学ぶ。（日曜学校、黙想会など）

**唐崎教会（滋賀地区）**

- ◆一九九六年のテーマ  
教会と家庭
- ▼教会学校について。
- ・家庭における信仰について。
- 【実践】シスター、司祭にお話を聞く。
- ◆一九九七年のテーマ  
信仰の証し。教皇様もクリスチヤン・私もクリスチヤン

**安曇川教会（滋賀地区）**

- ◆一九九六年のテーマ  
世間の人達が抱いているクリスチヤンのイメージは？
- ・信徒から見たクリスチヤンらしいクリスチヤンとクリスチヤンらしくないクリスチヤン。
- ・踏絵を踏んだ人と踏まなかつた人。その時あなたは、私は？
- ◆一九九七年のテーマ  
イエス様との出会い
- ▼受洗のきっかけ。
- ・どんな時にイエス様に出会ったか。
- ◆一九九九年のテーマ  
地域と宣教（準備の年）
- ▼唐崎教会創立五十周年を期して地域へのアピール（啓蒙活動）。

◆一九九九年のテーマ  
青少年と未来の教会

・地域とのつながり方法の模索。  
・差別問題（障害者・部落・いじめ等）を学ぶ。

**峰山教会（京都北地区）**

- ◆二〇〇〇年のテーマ  
春休みなど）、子供による、子供のためのミサを。
- ▼地域の子供達の教会学校への導き。

**大津教会（滋賀地区）**

- ・未信者の子供たちを教会へ（近隣、BS、GS）。
- ・聖パウロ幼稚園を通して教会のためのミサを。

**唐崎教会（滋賀地区）**

- ◆二〇〇〇年のテーマ  
二十一世紀の福音宣教へ向けて

**安曇川教会（滋賀地区）**

- ・一般市民への呼びかけを行う。
- ・平和へのかかわり。

**峰山教会（京都北地区）**

- ・ウォーカソン、敬老会、夏期学校などの行事への誘い。

**大津教会（滋賀地区）**

- ・平和へのかかわり。

**唐崎教会（滋賀地区）**

- ・社会への奉仕、活動の実践。

**安曇川教会（滋賀地区）**

- ・希望（隣人への愛の実践）

**峰山教会（京都北地区）**

- ・四年間を振り返って、反省と見直し。

・ルカ福音書4章を深める。  
・イエス様が期待されるクリスチヤンとは。

・ミサに行きたい！でも、ゆつくり朝寝坊もしたい……！

◆一九九八年のテーマ

部分はたくさんあつても体はひとつ

▼第二バチカン公会議の教会論の理解。

・聖靈によって与えられるさまざま

・聖靈の働きを感じる時。

◆一九九九年のテーマ  
御父の愛と私の愛

▼「神は愛」建前と本音。

・「他人をも自身のように愛する」  
ことが出来ますか？

・よき隣人とは。

◆二〇〇〇年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人達と二〇

〇〇年のクリスマスを迎える私達

▼なぜキリスト教はカトリックとプロテstantか？

・二十一世紀の幕開けを安曇川教会で迎えませんか？安曇川地区の人達への働きかけ。

◆一九九六年のテーマ  
御所教会(奈良地区)

・ルカ福音書4章を深める。

・イエス様が期待されるクリスチヤンとは。

・ミサに行きたい！でも、ゆつくり朝寝坊もしたい……！

◆一九九七年のテーマ

部分はたくさんあつても体はひとつ

▼第二バチカン公会議の教会論の理解。

・聖靈によって与えられるさまざま

・聖靈の働きを感じる時。

◆一九九九年のテーマ  
御父の愛と私の愛

▼「神は愛」建前と本音。

・「他人をも自身のように愛する」  
ことが出来ますか？

・よき隣人とは。

◆二〇〇〇年のテーマ  
イエスの誕生を迎えた人達と二〇

〇〇年のクリスマスを迎える私達

▼なぜキリスト教はカトリックと

・二十一世紀の幕開けを安曇川教会で迎えませんか？安曇川地区の人達への働きかけ。

◆一九九六年のテーマ  
御所教会(奈良地区)

悔い改めと和解

▼どれだけの人達が教会の社会教説の原則を本当に理解して実践できるかを考える。

◆一九九七年的テーマ

信仰とキリスト者のあかし(回心)

▼家族や隣人に対してもいかに教会へ足を向けさせることが出来るか、又、信仰を伝えていくことができるかを考える。

◆一九九八年的テーマ

教会の内的な一致(希望)

▼特に小教区の中で皆がいかに本音で話をし、相手を理解し、まとまっていくことができるかを考える。

◆一九九九年的テーマ  
信者の視野の拡大(愛の実践)

▼家庭の場、教会の場、社会の場所にてどのように関わりをもっていいくことができるかを考える。

◆一九九九年的テーマ  
信者の視野の拡大(愛の実践)

▼家庭の場、教会の場、社会の場所にてどのように関わりをもっていいくことができるかを考える。

◆一九九九年的テーマ  
信者の視野の拡大(愛の実践)

▼家庭の場、教会の場、社会の場所にてどのように関わりをもっていいくことができるかを考える。

◆一九九九年的テーマ  
希望と愛

▼信徒が一致し、全員が平和な安らぎのある教会にしていくことができるようになります。

◆一九九六年的テーマ  
富雄教会(奈良地区)

〇〇〇年の到来の趣旨をよく勉強し、大聖年を迎えるにあたつての心の準備をする。

◆一九九六年的テーマ  
日本二十六聖人に学ぶ

▼日本二十六聖人を深く知る。

◆一九九七年的テーマ  
心を新たにして聖書を読み直す

▼もう一度原点に立ち戻って神のみことばを熟考する。そのためには、毎日聖書に親しむ習慣をつけないと、研究会等にも積極的に参加する。

◆一九九八年的テーマ  
祈りによって、日々の自分の行ないと考え方を悔い改める

▼キリスト者として、日々の行動と考え方反省すべき点はないか？

◆一九九九年的テーマ  
教会での祈りだけではなく、各自が家庭における祈りについて考える。

▼キリスト者として、日々の行動と考え方反省すべき点はないか？

◆一九九八年的テーマ  
教会での祈りだけではなく、各自が家庭における祈りについて考える。

◆一九九九年的テーマ  
教会へ来なくなつた信者、子供達、青年達に、もう一度共同体の一員として参加して貰うにはどうかけ

▼教会へ来なくなつた信者、子供達、青年達に、もう一度共同体の一員として参加して貰うにはどうかけ

◆一九九九年的テーマ  
教会へ来なくなつた信者、子供

達、青年達に、もう一度共同体の一員として参加して貰うにはどうかけ

◆一九九九年的テーマ  
教会へ来なくなつた信者、子供

達、青年達に、もう一度共同体の一員として参加して貰うにはどうかけ

◆一九九九年的テーマ  
開かれた教会へ

▼ボランティア活動等による地域社会への福音宣教によつて、未信者である近隣の人々、貧しい人々、

◆一九九六年的テーマ  
奈良教会(奈良地区)

優先的にかかわり合いを持つ。

◆一九九六年的テーマ  
日本二十六聖人に学ぶ

▼日本二十六聖人を深く知る。

◆一九九七年的テーマ  
・信徒間の交わりを深める—聖体の奉仕者の養成。

◆一九九七年的テーマ  
・第二段階への準備。

◆一九九七年的テーマ  
キリストとの出会い

◆一九九七年的テーマ  
・日々の靈操(九八年まで継続)。

◆一九九八年的テーマ  
・信徒間の交わりを深める。

◆一九九八年的テーマ  
教会のグループ活動の充実。

◆一九九八年的テーマ  
地区のあり方の見直し。

◆一九九八年的テーマ  
聖靈の賜物

▼信徒間の交わりを深める。

◆一九九九年的テーマ  
教会内部の充実。

◆一九九九年的テーマ  
与えられた賜物を活かす。

◆一九九九年的テーマ  
転入者、新受洗者の応対。

◆一九九九年的テーマ  
・公会議の教え—例えば、『教会憲章』を学ぶ。

◆一九九九年的テーマ  
父の子として生きる喜び

◆一九九九年的テーマ  
▼信徒間の交わりを深める。

◆一九九六年的テーマ  
・パウロ六世の『福音宣教』を学ぶ。

◆二〇〇〇年のテーマ  
私たちでできる福音宣教

▼福音宣教共同体として更なる成長を目指す。

### 大和郡山教会（奈良地区）

- ◆一九九六年のテーマ  
信徒の日常生活と社会意識について
- ▼反省と対策。
- ◆一九九七年のテーマ  
キリストの愛への深化
- ▼キリストの愛について福音書を再度勉強する機会を多くする。
- ◆一九九八年のテーマ  
家庭内におけるキリストの愛の実践
- ▼信仰と社会生活の一致の実践を各信徒が実践する。
- ◆一九九九年のテーマ  
日常生活におけるキリストの愛の実践
- ▼小教区単位さらには日本の全教区で、日常生活におけるキリストの愛の実践を実施して行く大運動を開く。
- ◆二〇〇〇年のテーマ  
キリストの愛の実践の定着
- ▼日本の内外の問題に対し、信徒がキリストの愛を実践し、かかわってゆく。

### 大和高田教会（奈良地区）

- ◆一九九六年のテーマ  
各個人の信仰を振り返ってみる
- ▼日本二十六聖人殉教から現代の信仰生活を学び、ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』の要旨を理解して、共同体の信者として分かち合う。
- ◆一九九七年のテーマ  
現代社会に対応したキリストを学ぶ
- ▼現代の要理を学び、考え方分かち合う。
  - ・信仰入門講座（対象信者・未信者）に多くの信徒が参加・協力する（求道者受入れ体制）。
  - ・聖書研究会の充実。
- ◆一九九八年のテーマ  
青少年対策の信仰教育（体験学習）。
- ▼『教会憲章』を学び、考え方分かち合う。
  - ・五カ年計画のスタートの年—盡の準備の年とし、小教区全体に計画の意識と目的を周知徹底する。
- ◆一九九七年のテーマ  
自分が何故キリスト者なのか—キリストの愛、希望、信頼—
- ▼地区集会にて、

社会に開かれた教会へ  
▼パウロ六世の『福音宣教』を学び、考え方分かち合う。

・滞日外国人との交流（信徒なら各会に入会）。

・ボーア・ガールスカウト活動、幼稚園運営、結婚式・葬儀、バザー、

クリスマスキャロリング等積極的に宗教色を出し、宣教活動を行う。

◆二〇〇〇年のテーマ  
聖年を祝い聖体大会を開催

▼ご聖体について学び、考え方分かち合う。

・活気ある、全員参加の聖体大会を開催し、盛り上がりのあるイベントとし、二十一世紀の出発したい。

◆一九九九年のテーマ  
家庭と教会—家庭の復権が教会を生きかえらせる

▼家族、家庭の大切さを考える。夫婦ぐるみ、家族ぐるみの参加行事を考える。

◆二〇〇〇年のテーマ  
ゆるしの秘跡の意義を理解する。

▼日本二十六聖人殉教四百年祭への参列。

・地区集会等でわかつ合う。

◆一九九六年のテーマ  
殉教の今日的意義を考える

・信使徒職の認識（一人一役運動推進）。

・近隣教会（共同司牧）との交流。

・転入者・受洗者のフォロー

・信徒会組織の活性化。

◆一九九九年のテーマ  
自分が何故キリスト者なのか—キリストの愛、希望、信頼—

聖書の分かち合い。  
信者としての疑問や体験を分かち合う。

活気あふれる教会作りのために。

・隣人との連帯—出来ることを継続的に行なう。

・祈りについて考える—家庭で、皆で祈る。

▼自分に与えられた聖霊の賜物について考え生かす。

聖霊のはたらきの理解

・隣人との連帯—出来ることを継続的に行なう。

・活気ある教会作りのために。

・教会に来たくてもこれない人のために祈る。

・心の病をもつている人達へのいやしを考える。

## 大和八木教会(奈良地区)

◆一九九六年のテーマ  
福音宣教の視点から殉教の意味を一層深めるため

改めて思い起こしながら、地域の人々にもその一層の理解と協力を求めていく。

・日本二十六聖人殉教四百年祭を契機に、殉教者の信仰を思い起こしながら、私たち自身の信仰生活を反省する。

◆一九九七年的テーマ  
若い世代の中に教会共同体の一員としての意識がより深まるように

▼青年たちが、教会の中でみずから責任ある活動ができるような場を設定する。

・教会の全体的な行事に、中高生の諸活動が生かされるよう考慮する。

◆一九九八年のテーマ  
教会が、子どもたちにとつて楽しい生活の場となるよう環境を整備する。

◆一九九八年のテーマ  
信者一人ひとりが自分の靈性を覚し、それを深めていくことができるように  
▼分かち合いの中で、カテキズムの詳しい学習をする。

・学習あるいはそれらへの参加により、聖書・典礼の理解を深める。  
・默想会を開催する。

◆一九九九年のテーマ  
教会共同体の一致を強め深めるため

▼対話と分かち合いにより、信者間の交流の場を広める。

・バザー、運動会などの教会の行事を通して地域の人びとの交流を深める。

・他宗教の人びとや滞日外国人との対話を図り、その交流の場を広める。

・自分たちの教会生活との関わりの中で「共同司牧」の意味を理解する。

・飛騨地区の人びとの交流を一層深めていく。

◆二〇〇〇年のテーマ  
大聖年の意味を理解するため

▼教会の歴史を理解する。

・第二バチカン公会議の指針の理解を深める。

・自分たちの教区内で、あるいは他教区とともに聖体大会を開催する。

◆一九九九年のテーマ  
伊勢教会(三重地区)

▼伊勢教会の守護の聖人トマス小崎から学ぶべき事。  
・要理、祈り、靈的読書を深める。

◆一九九七年のテーマ  
日本二十六聖人のビデオ観賞。

▼神のみ旨に基づく家庭を育てる。家庭からの福音宣教

・キリストが期待されている使命に応える。

・トマス小崎を守護の聖人としている教会との交流。

◆一九九八年のテーマ  
聖靈に導かれて

▼講習会、研修会、要理クラスに積極的に参加。

・自己の信仰、生活、十字架からも逃げない信仰により福音の光のもとに歩む。

◆一九九九年のテーマ  
伊勢教会献堂五十周年

▼献堂五十周年の福音宣教を願うる。

・司祭も信徒も聖職者も皆が通じ合える共同体を作る。

◆二〇〇〇年のテーマ  
教会内の一致

▼キリストの現存と姿に新たに目ざめ、活気ある共同体を作る。  
・区会、ミサ後の信徒間の交流を深める。

・教会に來ていない人への対応を

大切にする。

## 鈴鹿教会(三重地区)

◆一九九六年のテーマ  
変えることのできない尊いものに気づこう

▼日本二十六聖人の生き方をビデオ、伝記等から見習う。

◆一九九七年的テーマ  
私にとってイエス・キリストとは?

▼洗礼の原点を見直す。

・カテキズムを学び直そう。

◆一九九八年のテーマ  
私たちの共同体は、聖靈によって一つになっているでしょうか?

◆『教会憲章』を学ぶ。

・ミサ以外で、神の導きを願う祈りの場を設ける。

・堅信の賜物を理解し、自分の役割を自覚しよう。

◆一九九九年のテーマ  
すべての人を神の大家族に招こう

▼まわりの人を大切にしよう。  
・小さい、弱い人々に目を向けよう。

・『現代世界憲章』を学ぼう。

◆二〇〇〇年のテーマ  
イエス・キリストが私たちの中にいつも生きておられることを喜び祝おう

▼パウロ六世の『福音宣教』を学

- ぼう。
- ・小教区の中で具体的な宣教方法を考えよう。
- ◆一九九六年のテーマ  
殉教と信仰
- ▼私達一人ひとりの踏絵とは。
- ・津の殉教者を称え、感謝と取り次ぎを願うミサを毎年十一月三日に行う。
- ・殉教の歴史を学ぶ（あわせて大東亜戦争時の教会の対応について学ぶ）。
- ・津の殉教史発行。
- ◆一九九七年のテーマ  
『啓示憲章』に学ぶ
- ▼みことばにたちかえる。
- ・反省、回心、祈りをベースに考える。
- 【実行方法】（毎年同じ）
  - ・定期的会合をもって学ぶ。
  - ・有識者の講演を聞く。
  - ・地区集会で、各年のテーマについて話合う。
  - ◆一九九八年のテーマ  
『教会憲章』に学ぶ
  - ▼社会の中での自覚。
  - ・反省、回心、祈りをベースに考える。

- ◆一九九九年のテーマ  
『現代世界憲章』を学ぶ
- ▼反省、回心、祈りをベースに考える。
- ◆二〇〇〇年のテーマ  
『典礼憲章』に学ぶ
- ▼反省、回心、祈りをベースに考える。
- ◆一九九六年のテーマ  
殉教
- ▼日本二十六聖人殉教四百年祭への積極的参加。
- ・日本二十六聖人殉教史の学習（毎月、集会祭儀後、成田氏を囲んで）。
- ・一九九七年のテーマ  
福音宣教
- ▼イエスの宣教活動を熟考する。
- ・信徒の福音宣教についての一日研修（福音センターの出前コース）を受ける。
- ・黙想会のテーマを福音宣教の熟考にささげる。
- ◆一九九八年のテーマ  
教会（聖靈によって導かれる教会）
- ▼教会の使命（典礼を準備し行う。信仰を伝える。周囲の人々を助け）について考える。
- ・典礼の意義を考える研修会を開催する（教区の典礼委員会に依頼したらどうか）。

- ◆一九九九年のテーマ  
誰一人滅びることを望まれない天の父
- ▼天の父の心と愛を聖書の中で探す。特にマタイ5章や18章が教会の中で行われているかどうかを熟考する。
- ・周囲の人々を助ける具体的な行動の年。
- つまずいてしまった兄弟を簡単に切り捨ててしまうことなく、徹底した関わりをもつようになる。自分に出来るボランティア活動を探して実行する。
- 教会でもボランティア活動を探し実行する。
- ◆一九九八年のテーマ  
平和
- ▼神に感謝。
- ・何事もゆるしあう心をもつ。
- ◆一九九九年のテーマ  
隣人愛に生きる
- ・心にゆとりをもつ。
- ◆二〇〇〇年のテーマ  
平和
- ▼実践と分かちあい。
- ・心にゆとりをもつ。
- ◆一九九八年のテーマ  
殉教者と信仰
- ◆一九九七年のテーマ  
殉教者と私たち。
- ◆一九九八年のテーマ  
神は救い主を約束された

- ◆一九九九年のテーマ  
大聖年
- ▼久居教会創立三十周年祝賀行事。
- ・聖書百週間、典礼研究会、日曜学校、地区集会での交わり。日曜後も初金曜日のミサ・集会祭儀の交わりを大切にし、一人ひとりの存在感がもてるような現代的な交わりの場を考える。
- ・ボランティア活動をしている人の話を聞く機会をもつ。
- ◆一九九七年のテーマ  
ともに永遠で、ともに等しい回心と祈り。
- ・真福八端の理解。
- ◆一九九八年のテーマ  
愛の息吹を感じる
- ・心に愛を。
- ◆一九九九年のテーマ  
平和を願う。
- ・心にゆとりをもつ。
- ◆二〇〇〇年のテーマ  
殉教者の歩んだ道を直視。
- ・何事にも耐え忍ぶ心を養う。
- ◆一九九六年のテーマ  
信仰の証しに勇気を
- ・殉教者の歩んだ道を直視。
- ・回心と祈り。
- ◆一九九七年のテーマ  
信頼の証しに勇気を
- ・久居教会創立三十周年祝賀行事。
- ・聖書百週間、典礼研究会、日曜学校、地区集会での交わり。日曜後も初金曜日のミサ・集会祭儀の交わりを大切にし、一人ひとりの存在感がもてるような現代的な交わりの場を考える。
- ・ボランティア活動をしている人の話を聞く機会をもつ。
- ・何事にも耐え忍ぶ心を養う。
- ◆一九九八年のテーマ  
ともに永遠で、ともに等しい回心と祈り。
- ・真福八端の理解。
- ◆一九九九年のテーマ  
愛の息吹を感じる
- ・心に愛を。
- ◆一九九八年のテーマ  
平和を願う。
- ・心にゆとりをもつ。
- ◆一九九九年のテーマ  
隣人愛に生きる
- ・心にゆとりをもつ。
- ◆二〇〇〇年のテーマ  
平和
- ▼実践と分かちあい。
- ・心にゆとりをもつ。
- ◆一九九八年のテーマ  
殉教者と信仰
- ◆一九九七年のテーマ  
殉教者と私たち。
- ◆一九九八年のテーマ  
神は救い主を約束された

## 松阪教会（三重地区）

▼救いの歴史。

◆一九九八年のテーマ

聖靈は命をお与えになる

▼三位一体は共同体の愛の模範。

◆一九九九年のテーマ

ゆるしの神である父

▼天地の創造主である父なる神。

◆二〇〇〇年のテーマ

感謝の年

▼神の民＝イエスの弟子として世に生きている私たち。

尾鷲教会(三重地区)

◆一九九六年のテーマ

殉教者たどられた信仰生活を勉強しよう

▼日本二十六聖人について心を配り、現代におけるキリスト者として信仰を深めよう。

◆一九九七年的テーマ

信仰をあかしする

▼キリスト者として、地域に存在感を拡めよう。

◆一九九八年のテーマ

聖靈の現存と働きを感じようと

▼秘跡を通して、祈りを重ねることによって体得した聖靈についての理解を深めよう。

◆一九九九年のテーマ

ゆるしの秘跡の再認識

▼救い主キリストにしつかりつながる。

がりながら回心の旅立ちを。

◆二〇〇〇年のテーマ

聖なるヨベルの年を祝う

▼人生に一回のヨベルの年を戴く

機会に恵まれるよう祈ろう。

◆一九九六年のテーマ

殉教の精神を学ぶ

▼ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』の第一段階について(1~38番)理解を深める。

・日本二十六聖人殉教四百年祭とする。

五ヵ年計画について、それぞれの共同体(小教区など)にアピールする。

◆一九九七年的テーマ

共通認識を深めるために分かち合う

▼広い意味での共同宣教司牧、司祭と信徒のあり方、福音宣教とは、現代の日本人の必要性に応えるとは、といったテーマで分かち合う。

◆一九九八年のテーマ

教会共同体づくりについて分かち合う

▼滞日外国人と共同体の問題を考えることを通じて、教会共同体のあり方について分かち合う。

◆一九九九年のテーマ

見直し評価をする。

▼賛助会員の毎月の集まりを続ける。

◆二〇〇〇年のテーマ

見直し評価をする。

▼貧しく精神的に孤独な人々の話

◆一九九九年のテーマ

評価と回心

▼教会共同体における司祭の役割について分かち合う。

教区のとりくみを評価し、次の千

年期にどう生かすかを分かち合う。

・夏の研修会で、NICEや京都

教区のとくみを評価し、次の千

年期にどう生かすかを分かち合う。

・召命のために信仰教育委員会に協力する。

◆一九九八年のテーマ

・青少年養成のために青少年委員会をバックアップする。

・第二バチカン公会議の文章を継続的に学ぶ。

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

◆一九九七年的テーマ

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

◆一九九八年のテーマ

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

◆一九九九年のテーマ

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

◆一九九七年のテーマ

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

◆一九九八年のテーマ

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

◆一九九九年のテーマ

・ヨハネ・パウロ二世の『紀元二〇〇〇年の到来』について学び、分かち合う。

しをよく聞く。

▼他者との接し方においてキリストの証人となる。

▼福音宣教をすべての施設で出来る範囲を行う。

▼聖書の分かち合いをする。

▼いつも買物する店でポスターを掲示させてもらう。

▼教会の図書で足りないものをお貸しする。

▼キリストの証人として公の場で証しする。

▼賛助会員のための機関紙に自分の祈りを載せる。

▼福音宣教をすべての施設で出来る範囲を行う。



▼小さくされた者との連帯(障害者、子供、女性、老齢者、環境)。

◆五年間のテーマ  
正義、人権、平和、差別に関する問題について

▼一九九六年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて默想する。

▼一九九七年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて回心する。

▼一九九八年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九九年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九八年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九九年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九九年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九九年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九九年の課題  
・各小教区に啓発を図ることを継続する。  
・このことについて刷新する。

▼一九九六年の課題  
・小さくされた者との連帯(障害者、子供、女性、老齢者、環境)。

▼一九九七年の課題  
・創造主を父としての私たちは、苦痛をさけない、問題を忠実に見つめる力、判断する力、よりよい方向への希望と祈り、個人と共に共同体の中で課題をおく生活に集中したい。

▼一九九七年の課題  
・家族として教会も大切にし、秘跡を通して、キリストへの委託、キリストとの交わりの喜びを基にして、キリストの心を求める祈り、日常、愛の業、人間の弱さ(老い、病苦の底にあるキリストがいやそらとされた人間の考え方)から離脱したい努力。

▼一九九八年の課題  
・神が生命をわけて下さる聖霊と共に、処女マリアを聖母とされた聖霊、十二人の男を聖なる証人とされた聖霊を信頼して、罪深い人間の営みを神のものとする社会の中の教会の一人として、生活を通して信仰の証人となる恵みに留意しつづけること。

▼一九九八年の課題  
・社会のさまざまの出来事を通して、人権問題を考える。

▼一九九九年の課題  
・沖縄問題・子どもの人権問題など具体的な問題に取り組みながら、神によって創造された人間が、その尊嚴を傷つけられている点、尊厳が守られている点を見つけ出していく。また、研修旅行・食事会・山菜取りなども継続して、楽しく学ぶことを大切にする。

▼一九九九年の課題  
・沖縄関係の資料集め。  
・薬草(効用)を調べる。

▼一九九九年の課題  
・沖縄を学習する(歴史・基地)。  
・御父への賛美をさげて、よい業

をして世を渡られたのでミサ聖祭の心と二金会、賛美と奉仕・奉獻の生涯を完成させていただくこと。

▼二〇〇〇年の課題  
・御父の安息と復活の生命を引き出させた真理に心を集中して、人間性が新しく地上に与えられる限り続く罪との闘いの現実から回心と希望を新しい勇気で示し、キリストの意義深さを伝える新しい時をはじめる。

▼二〇〇〇年の課題  
・五年間のテーマ  
・五年間の原点に帰っての通り、社会の変化、高齢化に対して教会も信者一人ひとりも、もう一度原点に立ち帰つて殉教・信仰のあかし―福音宣教を見直す良いチャンスではないか。

▼二〇〇〇年の課題  
・信者一人ひとり又は共同体としての特徴やそのタレント性を如何に完成させ導き出すか。  
・色々な困難をどの様に乗り越えていくか。

▼二〇〇〇年の課題  
・これから教会をどの様に考え将来どの様になれば良いのか。  
以上三点を基にSVPとしては五ヵ年計画として現代の殉教のあり方、進め方を考えていく事とする。

▼二〇〇〇年の課題  
・三年間の計画  
・子どもの人権を考える。  
・講演会(映画会)の予定。  
・薬草の煎じ方を調べる。

▼二〇〇〇年の課題  
・糠みその会だよりの発行。  
・糠みその会だよりの発行。  
・糠みその会だよりの発行。  
・糠みその会だよりの発行。  
・糠みその会だよりの発行。

▼二〇〇〇年の課題  
・三年間の計画  
・沖縄を体験学習する(旅行)。

◆五年間のテーマ  
カトリックの信仰に今生きるものとして

四百五十年前に神なる父は聖フランシスコを日本に送つて下さり、御父への賛美をさげて、よい業

・沖縄を学習する(歴史・基地)。  
・御父への賛美をさげて、よい業

・訪問活動、隣人への愛と正義の実践、聖書の勉強を少なくとも毎年

信 瞳 二 金 会

聖ヴィンセンツオ・ア・パウロ会  
京都中央理事会、河原町協議会

日僅かな時間でも実行する事により、自分自身の完成を目指す。

▼未来への殉教＝未来へ託す使命感。次世代に継がせる為の行動と犠牲。

## コーエ・チエレステ

◆私どもコーエ・チエレステは依頼を受けてはじめて活動が出来るもので、特別の計画を立てられずその時に応じた対応をしなければならない。

・目的は聖歌をして典礼（祈りに役立つ）に奉仕することにある。葬儀、結婚式、その他教会または教区などから依頼を受けた行事に協力している。

▼私達は典礼に関わる音楽的啓蒙とその技術的向上を図るために、普段の練習以外に随時特別講師を招き研修を行っている。この研修会は広く教区一般信徒にも案内し役立てるよう呼びかけている。また、会員個々の精神的、宗教的感性を高め豊かな人間性と奉仕への熱意を身につけるべく、自己刷新の機会ともなるよう黙想会を、その他会員相互の理解と融和を深めるため慰労会なども行っている。

・信徒でない会員も大いに活躍している。それぞれの家庭や仕事に支障を来たさぬよう、かつ積極的に参加し活動をこなしている。特に葬儀などの急を要する奉仕活動も出来る限り受け入れるよう努力したい。

・これらの活動によつて信者未信者を問わず多くの人々から感動とお礼の言葉を頂き、大きな励みとなつてゐるが、それに甘んずることなく、会員一人ひとりが会の趣旨を十分認識し一層努力することによって、福音宣教の一端を担つて行きたいと願つてゐる。

## ボランティア奈良連絡会

◆一九九六年のテーマ  
二〇〇〇年に向けて

▼社会のニードに答える為、具体的な計画の話し合い。

・外国人移住者と関わりを深める為、奈良滞日外国人と連帯するグループを充実させる。

・黙想会、及び研修会。

◆一九九七年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

▼ボランティア養成基礎講座十回コース。

・外国语移住者と兄弟的な関わりを深める。（以降毎年）

・黙想会、他団体との連携。  
◆一九九八年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・野外生活の中で、自分自身の生き方に問い合わせてみる。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・黙想会、研修会。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・野外生活の中で、自分自身の生き方に問い合わせてみる。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・黙想会、研修会。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・黙想会、研修会。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・黙想会、研修会。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・黙想会、研修会。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

・黙想会、他団体との連携。  
◆一九九九年のテーマ  
キリストの福音的精神に基づくボランティアの育成

**編集者よりお知らせ**

五カ年計画として提出されたところ、二千年をめざしての取組みとして提出されたところがありましたが、「二十一世紀の福音宣教に向かって」という題に致しました。又、今回掲載するにあたって、一团体二段以内におさめるよう編集しましたので御了承下さい。十月二十一日までに提出されなかつたところは今回掲載できませんでしたが、教区時報で順次掲載致しますので、これからでも教区時報編集部宛にお送り下さい。